

羅針盤

KANSAI GAIDAI KYOSHOKU JOURNAL

教職を目指す学生・卒業生のために

COMPASS

第 122 号 2017.7.28(金)発行

関西外国語大学
教職教育センター

SCET

「教員採用試験、真っただ中」

英語キャリア学部 教授 浦嶋敏之

教員採用試験の真っただ中にいるみなさん！

今まで、磨き上げてきた先生としての自分の魅力をいかに伝えるか、本当に厳しく・難しいことです。準備期間が短かった人のみならず、万全の対策を積み上げてきた人でも不安と緊張がピークになっていることでしょう。当然です。教師という仕事と同様「ここまでやれば…」というリミットがないからです。ただ、みなさんの努力・流した汗の分だけ、必ず子どもにかえっていきます。どうか、もがき苦しんでください。とことん、ありのままの自分と向き合ってください。そして、これまでの教育実習・ボランティアなど様々な経験や先生になりたいという覚悟に裏打ちされた本気の言葉で自分を語ってきてください。採用試験ですから合否という結果はあります。しかし、どのような結果であっても本気で取り組んだ経験は、先生としての財産となります。「夢や志を持ち続ける子どもを育てたい」そんなみなさんの志を、まずは自らの実践として示してほしいと願っています。

先生をめざすみなさん！

採用試験に挑戦している4年生の姿は輝いていますね。みなさんは、この夏をどう過ごしますか？一気に英語のスコアをあげますか、何かの資格試験に挑戦しますか、それともボランティアに参加しますか、いろんな計画を立てていることとおもいます。夏の間自分の付加価値の☆を1つ増やし、秋学期をむかえることを期待しています。すでに、みなさんの採用試験は始まっています。夢への思いをエネルギーに、仲間といっしょにそれぞれの持ち味にさらに磨きをかけることが、魅力ある先生への道です。子どもたちは、待っています！

教員採用選考テストはじまる

気が付けば早くも7月となりました。7月といえば教員採用選考テストです。7月から順次1次試験が実施されます。これまで、北海道・東北地方が7月第1週、関東地方が7月第2週など北から順に行われる傾向がありましたが、現在では近畿地方が7月第1週となり、実施時期に変化が表れてきました。また、2次試験は8月に実施されます。

教員採用選考テストはこれまでと傾向が変わりつつあります。大阪府・大阪市・堺市公立学校教員採用選考テストは、これまでの教職教養のみから一般教養にあたる「思考力・判断力を問う問題」が出題されるようになりました。長野県教育委員会では、小学校教員選考の1次筆記試験で外国語の内容を含む試験が実施され、静岡県教育委員会ではスペイン語検定などのスペイン語に関する資格保有者への加点がされます。また、TOEFLやTOEIC、英検等の成績に加点をする都道府県も増えています。

このように教員採用選考テストは変わってきています。来年度受験を希望する学生は、教育委員会のホームページに教員採用選考テストの要綱が掲載されていますので、各自確認の上、事前に対策をするようにしてください。

特に、一般教養および専門である英語は事前に対策することが大切です。過去問等を確認して、傾向を分析するようにしてください。

また、質問等あれば教職教育センターに気軽にたずねてください。

大阪府教志セミナー

先日、7月12日（水）に大阪府教志セミナーの合格発表が行われました。

大阪府教志セミナーは大阪府教育庁が主催し、8月から3月までの間、全12回の講座、府内公立学校における実地実習を行います。

※大阪府教志セミナーは教科での募集となり、今年度には英語科はありませんでした。

大阪府教員採用選考テストでは、大阪府教志セミナー修了者対象の選考があります（大阪府教志セミナー修了者選考は平成30年度で終了予定）。

このような制度は、大阪市や京都府、東京都など多くの教育委員会が行っています。直接教員採用選考テストにつながるものは少なくなっていますが、教員になるためのスキルアップの機会になりますので、希望する学生は各教育委員会のホームページで情報を収集してください。

参考として、今年度の大阪府教志セミナー合格者の声を紹介します。

**西鍵 穂乃里 さん 英語キャリア学部 英語キャリア学科
小学校教員コース 3年生**

私は、将来大阪府の小学校教員になるため、教員採用選考テストの合格に向けて目標の一步になると思い、大阪府教志セミナーを受講することを志願しました。セミナーの募集人数は100名と決められており、受講するにあたって、教職教養、集団面接が試験としてありました。

私は、これまでチャレンジテストを受けたこともなく、教職教養の勉強は授業で出てくるワードでしか覚えていなかったため、一からの勉強になりました。大学では試験対策として約2か月前から角野先生が週1回2限分の講義をしてくださいました。自分がどうして教師になりたいのか、なっってどうしたいのかなどを明確にすることを指導してくださいました。さらに本番の面接時と同様の環境を作り、自分の意見をはっきり述べる練習をしました。

教職教養は約1か月半で参考書一冊分を詰め込みました。私の場合、過去問を解いても用語の意味がわからないことがあったので、用語理解を徹底的にしていきました。一通りやったところで過去問を解き、わからなかったり、間違えたりした所はもう一度復習し、何度も同じ問題を解くようにしていきました。当日の面接は何度も練習をしたこともあり、緊張しやすい私にとっては落ち着いて受け応えができました。これから半年ほどセミナーを受講することになりますが、ここからがスタートであり、目標を明確にする第一歩である自覚を持ちたいと思います。そして、得られるものをきちんと自分のものにし、気を引き締めて学んでいきたいと思っています。

**井上 友稀 さん 英語キャリア学部 英語キャリア学科
小学校教員コース 3年生**

私が大阪府教志セミナーを受けるきっかけとなったのが、私には周りより多くの付加価値がなく、ボランティア経験も豊富でなかったため、自分にも一つでも多くの付加価値をつけようと思い、この大阪府教志セミナーを受験しました。セミナーを受けるにあたって、角野先生をはじめ多くの先生やクラスの友達の協力のもと、教職教養についての勉強や、面接練習を行いました。角野先生指導のもとで、面接シートを作成し、そのシートをもとにたくさん面接練習をしました。同じセミナーを受ける友達同士で面接内容を考え、自分たちで一回でも多く面接練習を行おうと友達と切磋琢磨し合いました。セミナーを合格するためには同じ志を持つ友達と高め合うことが合格への近道だと思います。決して一人でするのではなく、周りに協力をもとめて助け合うことが大切だと思いました。周りより多くの教育に関する学

びを深めることができるこの機会をうまく生かして、たくさんの知識をつけ、また実地実習を生かして現在の教育の現場の現実を把握してきたいと思います。来年の教員採用選考テストで現役合格を掴み取れるように、より一層勉学に励みたいと思います。

**中越 玲央名 さん 英語キャリア学部 英語キャリア学科
小学校教員コース 3年生**

4月から毎週金曜日の午前中に角野先生が講義をしてくださっていて、その講義に毎回出席していました。講義の中では、専門教科である英語の授業をどう展開していくのか、実際の英語の授業はどのように展開しているのか等や、それに加えて「教える」ということはどういうことなのか、という講義をして頂きました。6月に入ってからは、面接対策を中心とした講義内容でした。面接対策として、オリジナルのエントリーシートを作成しました。教科指導、生徒指導等様々な項目に分かれており、文をそのままインプットするのではなく、フローチャートで頭にインプットされていたので本番の面接の時には練習通りスラスラと行うことができました。自分自身、面接が苦手なこともあって、土台作りをしっかりとっておきたいと思い、エントリーシートを完璧に作り上げることを意識し、エントリーシートを完成させました。その後は、毎週金曜日に角野先生とセミナー対策をしていたみんなと面接練習を何度か行いました。お互いに良かった点や悪かった点を言い合い、客観的に自分の面接を見ることができ、お互いに意識を高め合えたこともあり、面接対策をより良いものにできたのではないかと思います。教職教養の試験対策としては、大阪府の教員採用選考テストの過去問を解きました。試験は、マークではなく記述式だった為、キーワードを隠して勉強していました。セミナー受験を対して、角野先生の講義がとても役に立ちました。また、今回の受験を通して同じコース仲間と切磋琢磨し合えたことが大きかったと思います。この経験を活かして、来年の本番の教員採用選考テストを頑張りたいと思っています。

教職教育センターから

定期試験期間が終わると夏休みです。この夏休み期間を有効に活用してください。特に、教職課程の継続履修判定・教育実習判定のための英語力をまだ達成できていない学生は、この期間にしっかり学習し、秋学期のなるべく早い段階で得点を取るようになってください。

・今後のスケジュールについて

①サマー・スペシャル 8月10日(木) 13:00 6207 教室集合

※教職教育センターの夏期休業期間も実施。13日(日)、14日(月)は実施しません。

教員採用選考テストの二次・三次対策として模擬授業、場面指導、個人面接を中心に対策を行います。希望する学生は教職教育センターカウンターでサインアップしてください。

②介護等体験事前ガイダンス 9月2日(土) 14:00から

場所: 2105 教室 (中宮キャンパス 2号館 1階)

26 教室 (学研都市キャンパス A 教室棟 2階)

対象者: 学部3年生・4年生・短大2年生 (平成29年度4月に介護等体験を登録した学生)

シリーズ②①「心の窓を少し開いて！」

教えること、学ぶこと

短期大学部 教授 明石一朗

鳥の雛は卵の殻を破って生まれてくる。雛は自分のくちばしで硬い卵の殻を内側から懸命につつきながら外に出ようとする。しかし、それだけでは卵の殻は破れない。雛と共に親鳥が雛のつついている箇所を探り当て、卵の外側からその場所を叩いてやるのである。

つまり、「早く外に出たい」という雛の気持ちと、「頑張れ頑張れ、もう少しで産まれるぞ」という親鳥の励ましが相まって雛は誕生する。

これは禅の言葉で「啐啄(そったく)同時」と言い、中国の昔の人の教えだと言われている。

人間の世界では、親鳥が父母や学校の教師であり、雛は子どもである。学校や家庭の営みを通じて子どもは日々成長する。「早く正確に計算ができるようになりたい」「友だちと仲良く遊びたい」などと、目標を立ててチャレンジする。その姿をしっかりと見守り、励まし教導くのが教育者の務めである。

「教えるとは希望を語ること、学ぶとは誠実を胸に刻むこと」。

これは、フランスの詩人、ルイ・アラゴンの言葉である。

教師は、未来を担う子どもたちに「希望」を語れる人でありたい。子どもの無限の可能性を追求し、希望を語り、この国の未来を託したい。

「誠実を胸に刻む」とは、物事に対して、真っ直ぐに真心を込めて学ぶ姿勢である。知的な学習だけでなく、豊かな人間性を培う態度も指している。

教育の目的が「人格の完成」をめざすものであり、一人ひとりの子どもが学びを通して「民主的で文化的な社会」の担い手として、「世界の平和と人類の福祉」に貢献する人間になってほしいと願う。

編集後記——教職教育センターより——

現在、定期試験期間ですが、定期試験が終われば待ちに待った夏休み。今までできなかった事をやるチャンスと、ウキウキしている人も多いのではないのでしょうか。

それも良いのですが地に足をつけて、今足りていないスキルを伸ばす絶好のチャンスでもあります。

TOEFL を 30 点伸ばそうなどの具体的な目標を定めて、21 時から 1 時間は勉強しようなどと決めてしまえば、それに合わせて生活リズムが作られますのでよいかも知れません。

具体的な目標と無理のないスケジュール、勉強の習慣化、そして余暇も満喫する。そうすれば、本当に充実した夏休みになるかもしれません。